

IFCO 2013

大阪世界大会



2013.9.13 (Fri) - 16 (Mon)

大阪国際交流センター 〒543-0001大阪市天王寺区上本町8-2-6 TEL.06-6772-5931



家庭養護の推進に向けて協働しよう！ Moving Forward Hand in Hand for Foster Care

家庭養護の質の向上は、世界の社会的養護の共通の課題です。

子ども中心の家庭養護を促進するには、里親、養育者、専門機関など関係者が連携・協働する必要があります。

IFCO大会は、その機会を提供する場であるとともに、情報交換し学びあう機会でもあります。

また、若者たちが自分たちの仲間をつくっていく大切な出会いの場です。



Key Note Speaker: Ms Jennifer Davidson ジェニファー・デビッドソン

CELCIS (Center for Excellence for Looked After Children in Scotland) のディレクター。国連子どもの代替養護に関するガイドラインの実用ハンドブック作成プロジェクトのリーダーのひとりでもある。カナダ、アメリカそして英国において子どもに携わるソーシャルワーク実践と専門的教育現場で指導的な役割を担う。また、アメリカにおける国連子どもの権利条約批准キャンペーンの創設メンバーの一人でもある。

9.13 (金)

参加受付 (11:00~)

開会式 (Opening Ceremony) (13:00~)

・ **基調講演 (Key Note Address)**

「児童の代替的養護に関する指針」と子ども中心の社会的養護

・ 特別企画分科会『まずは子どもの声を』 Bob Louis氏

・ 各分科会 (ワークショップ)

9.15 (日)

・ **シンポジウム**

「社会的養護経験者 (care leaver) からの声」

特別企画分科会「アジア諸国における社会的養護」

・ 各分科会 (ワークショップ)

ディナー (Social Event)

9.14 (土)

・ **シンポジウム**

「諸外国の里親家庭支援における連携・協働のあり方」

特別企画分科会「シンポジウム～震災と子ども～」

・ 各分科会 (ワークショップ)

9.16 (祝)

・ **シンポジウム**

「諸外国における家庭養護の強み・弱み・希望」

閉会式

ユースの発表、次回大会プレゼンテーション

International Foster Care Organization 2013 9.13-16

〈各プログラム詳細〉

分科会(ワークショップ)



大会テーマに基づき、参加者の中から発表者を募集します。発表者は、実行委員会のプログラム部会が採用の可否を決定します。

ユースプログラム



ユース(15歳から29歳)で、社会的養護の生活を経験した若者を中心に、里親の実子等も加わり、言葉の壁を越えて交流します。一般のプログラムとは別に、ユースが企画や運営を行うユースのためのプログラムです。

チルドレンプログラム



ユース以外のお子さんには、年齢に応じた楽しいプログラムを用意します。小・中学生の参加は、昼食代・交通費等の実費として、1日1人2000円を負担していただきます。

幼児は、保育があります。(無料)

〈参加費〉

アダルト

全日(4日間)参加 36,000円 (5月31日までのお申し込み)
※ディナー費を含みます 40,000円 (6月1日から7月31日までのお申し込み)

1日参加 10,000円
※ディナー費を含みません 早期登録割引はありません。
(ディナー費は10,000円です。)

ユース

全日(4日間)参加 13,500円 (5月31日までのお申し込み)
※ディナー費を含みます 15,000円 (6月1日から7月31日までのお申し込み)

IFCO(イフコ)とは

International Foster Care Organization(国際フォスターケア機構)は、子ども中心の社会的養護と家庭養護の促進と援助を目的とした世界で唯一の国際的ネットワーク機構です。

1981年に結成されて、現在ではその会員は世界60カ国以上に広がっています。

〈主催〉

公益財団法人全国里親会
IFCO2013大阪世界大会実行委員会

〈協賛団体〉(予定)

公益財団法人資生堂社会福祉事業財団、フィリップモリスジャパン、日本万国博覧会記念機構、国際交流基金、未来のつばさ財団、日本ユニセフ協会、明石書店・福村出版、コアアセットグループ、日本社会福祉弘済会、日本医師会、他

IFCO世界大会

IFCOの世界大会は隔年で開催されており、2011年7月には第16回大会がカナダで開催されました。

大会の進行形式や内容はカジュアルなものですが、世界的に著名な研究者から一般の里親、社会的養護経験者、その他の様々な専門職によるものまで、社会的養護に関する幅広い内容の分科会(ワークショップ)がもたれます。

この大会の最大の特徴は、当事者であるユースのプログラムが同時に用意されていることです。大人に関与されることなく、大会を通して各国のユースが交流を深めます。ユースはこの大会によって言葉の壁を越えて、自らの人権と福祉の大切さについてお互いに学び励まし合う機会を得ることができます。

〈後援団体〉(予定)

厚生労働省、大阪府、大阪市、堺市、全国社会福祉協議会、大阪府社会福祉協議会、大阪市社会福祉協議会、堺市社会福祉協議会、全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国情緒障害児短期治療施設協議会、全国児童自立支援施設協議会、全国母子生活支援施設協議会、全国自立援助ホーム連絡協議会、全国児童家庭支援センター協議会、全国児童相談所所長会、日本ファミリーホーム協議会

〈お問い合わせ〉

IFCO大阪世界大会実行委員会
全国里親会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7
mail.info@ifco2013.com

<http://ifco2013.com/jpn/>